

いしかわ

大百科

～石川県民大学校放送利用講座～



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表 令和元年 後期 10月～3月 手話通訳つき放送

テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・いしかわミュージアム散歩 (全15回)

石川県には多種多様な美術館や博物館があります。加賀百万石の歴史や薫り高い文化、その地域の風土などに触れながら、美術館・博物館の楽しみ方を学び、展示物に隠されたふるさと石川の魅力を深掘りして再発見していきます。(このシリーズは4月から続いています)

第8回 10月13日(日)放送 大学のミュージアム

金沢大学や金沢美術工芸大学、金城大学といった石川県内の各大学にはキャンパスの内外で一般公開している博物館があります。学生の卒業制作展や様々な企画展覧会、四高時代の貴重な資料、また全国規模で工芸資料を収集したギャラリーなど、学生以外も楽しめるミュージアムを訪ねます。

第9回 11月3日(日)放送 谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館

金沢の名誉市民第一号の建築家・谷口吉郎の住まい跡に今年開館した金沢建築館は世界的にも著名な建築家で吉郎の長男である吉生の設計により建設されました。昭和・平成の建築界を代表する親子の足跡を顕彰するとともに、建築とまちづくりを考える施設として期待が集まっています。

第10回 11月24日(日)放送 石川県柳田星の観察館「満天星」 能登町真脇遺跡縄文館

星と人との関わりは原始時代にまでさかのぼります。柳田星の観察館は4,000万個の星を映し出すプラネタリウムや県内最大の60センチの反射望遠鏡で宇宙の不思議を体感できる施設です。また真脇遺跡縄文館では、火起こしや土器づくりといった原始の人たちの暮らしを想像しながら歴史に親しむことができます。

第11回 12月15日(日)放送 金沢ふるさと偉人館

「タカジアスターゼ」「アドレナリン」を発明した科学者・高峰譲吉や天文学者・木村栄といった国内外で優れた功績を遺した先人たちを紹介する金沢ふるさと偉人館では、今日まで、さまざまな分野にわたり多くの先人を生み、育んできた金沢という街のふところの深さをうかがい知ることができます。

第12回 1月26日(日)放送 黒島天領北前船資料館・旧角海家住宅

幕府直轄の天領として北前船交易で繁栄した輪島市門前町黒島地区。北前船に関する貴重な資料や今も続く天領祭の山車が展示され、北前船の船主たちの栄華を感じ取ることができます。また船問屋として活躍した角海家では厳しい航海を乗り越えて手にした蒐集品など日本海文化の足跡を辿ることができます。

第13回 2月16日(日)放送 石川県立能楽堂・金沢能楽美術館

「金沢は空から謡が降ってくる」と言われるほど親しまれてきた「能」。石川県立能楽堂は能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として昭和47年、全国初の独立した公立能楽堂として開館しました。金沢能楽美術館では美術的価値の高い能衣装などの展示のほか、実際に能面・衣装を試着して「能」の魅力を感じることができます。

第14回 3月8日(日)放送 石川県立白山ろく民俗資料館

白山信仰や出作り農家といった特有の山村文化が残る白山ろくの貴重な文化遺産を後世に伝えている白山ろく民俗資料館は、厳しい自然環境で育まれてきた風土を学ぶことができます。移築復元された旧家や道具類ひとつを見ても、先人たちの知恵がたっぷり詰まっています。

第15回 3月29日(日)放送 国立工芸館

国立工芸館(正式名称:東京国立近代美術館工芸館)が2020年夏に石川県に移転・開館します。現工芸館が所蔵する人間国宝・日本芸術院会員の全作品をはじめ、美術工芸品1900点以上が移転します。日本海側初の国立美術館として、県立美術館や県立伝統産業工芸館と合わせて、日本の工芸の全貌を一堂に鑑賞できる拠点として期待されています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。

〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階

電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

1月5日(日)放送 能登金剛・日本海と大地の息吹 シリーズ・ふるさとを歩く⑧

約29kmつづく羽咋郡志賀町の海岸線一帯の景勝地「能登金剛」は巖門やヤセの断崖など特徴的な地形が見せる美や日本最古の木造和式灯台・旧福浦灯台、伝説が残る義経の舟隠しなど、能登外浦の荒々しさと歴史を感じさせます。地元のボランティアガイドの会「又次」は能登金剛の魅力や民話・伝説を語り継ぐ活動も行っています。(平成29年10月8日放送)

